



さてつぶ

特集 あたりまえを問い合わせ直す
～セクシュアルマイノリティについて考える市民の取組み

生きづらさは地続きにある 男女共同参画社会をつくる豊中連絡会
多様な生き方を地域と一緒に考えたい 末原真紀（関西クイア映画祭実行委員）

Contents

- 学び、つなぐ 『To you（トゥー ユー）～あなたへ』 いよいよ発行
- さてつぶ 地域と共に 「克宝」に認定されました～豊中市立克明小学校人権総合学習
- みんなのちょっと相談 「認可保育所に入れないって聞いたけど…」
- リレーエッセイ「私とジェンダー」自分自身の変化を楽しみながら 寺岡裕城
- さてつぶ主催事業 & 貸室のご案内

2018.03

vol. 16

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

あたりまえを問い合わせる ～セクシュアルマイノリティについて考える市民の取組み

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷでは、男女共同参画社会の実現をめざして多くの市民が活動をしています。市民活動を応援することは、すてっぷの大事な仕事です。今回は、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の人権について考える市民の取組みから報告をいただきました。これから「男女共同参画社会」を考える貴重なヒントに感謝します。

生きづらさは地続きにある

男女共同参画社会をつくる豊中連絡会
(すてっぷ登録団体)

不平等を問い合わせ続けて活動

私たちは2002年12月、よりよい「男女共同参画推進条例」を創って男女平等を実現しようと、会を結成しました。学習会企画・すてっぷで活動するグループのネットワーク作り・フェスタ開催・行政への要望行動などを行なってきました。

学習会は、「男女不平等を変えていこう！」をテーマにして、年間2回実施しています。今、新自由主義の考え方方が蔓延し、勝ち組・負け組と格差がひろがり、さまざまな場面で「生きづらさ」が生まれています。女性の間でも、シングルマザーや拠り所を失くしている若い女性の「生きづらさ」は一層深刻になっています。こうした状況を踏まえ、最近では、「どんな『生きづらさ』があるのかを知り、それなくすために私たち一人ひとりは何ができるのかと一緒に考える場」にすることをめざしています。

今年の一回目は、多様な個人を認め合い大切にし合う社会をめざして、セクシュアルマイノリティの人たちの「生きづらさ」に焦点をあてようと決めました。2017年度から高校の家庭科教科書にLGBTの記述が入ったのを知ったことも後押しになりました。

仲岡弁護士の自分を肯定する生き方に学ぶ

10月15日、講師に当事者の仲岡しゅんさんを迎えるました。「戸籍上は男性の女性弁護士です」という自己紹介から始まって、大阪弁で笑いを取りながら話されました。「セクシュアルマイノリティとは、その社会で『普通とされている』性のあり方に当てはまらず、マイノリティである人々のこと」「職場で、『セクシュアルマイノリティの話をするのはいいが、あなたがそ

だと言うのはやめてくれ』と言われたことがある。これは総論賛成各論反対、建前と本音の違いと言えることで、差別を生む。部落・障がい・人種などでの差別と共通だ」などと、とても説得力がある話が続きました。

かつて学童保育指導員をしていた時、色紙を使って子どもたちに自分のことを説明したという話は、感動的でした。他の人と違っても自分を肯定して生きていくことの大切さが、きっと子どもたちにも伝わったことでしょう。また、憲法24条についても、「憲法は『個人の尊厳』を基本にしていて、一人ひとりの権利を保障するものであり、24条の本質は同性婚を禁止するのではなく、むしろ多様な家族のあり方の実現が求められているのではないか」と投げかけられました。

最後に、「セクシュアルマイノリティが抱えさせられている問題は、女の生きづらさ・男の生きづらさ、それらの延長線上にある。単に『みんな違って、みんないい』と言うだけではなく、なぜその人のあり方が疎外されているのか、その原因を考えたい」と結ばれ、強く印象に残りました。

今回もチラシ・SNSなどで周知活動に力を入れました。その結果、60人の参加者で、「分かりやすかった」という感想も多く、熱気ある学習会になりました。手話通訳もお願いし、聴覚障がいがあるセクシュアルマイノリティの方々の参加も可能にしました。今後、学習会で見えてきた課題をもっと掘り下げ、発信する活動にも取組みたいと考えています。



大阪弁で笑いを取る当事者
弁護士仲岡しゅんさん

多様な生き方を 地域で一緒に考えたい

末原 真紀
(関西クィア映画祭実行委員)

■ 関西クィア映画祭とは

関西クィア映画祭は、今年で 12 回目の開催を迎えます。2014 年からはすてっぷを大阪会場として、世界中からクィア（注）、ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズムを扱った作品、性的少数者などを扱った作品、性に関わる暮らしや生き方をテーマにした作品を集めて上映しています。

欧米だけでなく、日本を含むアジア各国、南米、中東など文化、民族や言語にも多様性のある作品選びを心がけています。セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の存在は普遍的であり、それぞれの文化の中で、様々な葛藤を抱えながら、自分らしく生きている人々の姿を紹介したいと考えるからです。

■ すてっぷで実施するということ

「あなたは、どんな性別で生きていますか？」
「どんな恋愛や人との関わりをしていますか？」
「女（男）とは、何ですか？誰ですか？」

関西クィア映画祭は、社会の中で当たり前とされる性別のあり方や生き方に対して、問い合わせかけます。家庭、学校、職場など生活のあらゆる場面で、女性と男性に明確に二分されています。すべての人間が等しく人権の享有主体であるにもかかわらず、「身体の性別と性自認が一致している人（シスジェンダー）」かつ「異性愛者」にのみ、特別な自由が保障されているのが現在の社会です。社会全体が、私たちからの問題提起を受け、すてっぷは女と男という2つの性のみに限らずダイ

バーシティ（多様性）という捉え方を牽引することを期待しています。



毎年、大勢の観客がつめかける映画祭

■ 地域との関わり

関西クィア映画祭を知る前は、自分自身がシスジェンダーや異性愛者であること、それが多数派における無意識の暴力であることなどについて考えたこともなかったという人もいます。

すてっぷで開催したことでの地域の人々が私たちを個人として知り、社会の抱える問題について積極的に学ぼうしてくれる人もいます。

■ 自分たちの中の差別と向き合う

関西クィア映画祭も完全ではありません。性的少数者に対する差別に対しては敏感であっても、自分たちの内部の差別（女性差別、人種差別、民族差別、トランスジェンダー差別、障がい者差別、セックスワーカー差別、貧困など）については無関心である場合があります。まだ私たちが存在に気づいていない、脇に寄せられた人々もいるでしょう。私たちが見落としているものもたくさんあると思います。私たちは誰かに何かを教える立場なのではなく、そのような問題を地域の方々とも一緒に考えていくたいと思います。

「あなたは今、どんな性を生きていますか？」

（注）クィア /queer …性の領域で“ふつう”ではないと考えられている人々への蔑称でした。これを逆手にとつて使うことで、様々な少数派を肯定し、「ヘンでもいい」「不一致は私たちの豊かさだ」と差異の権利を主張し、性的少数者をはじめとする「普通でない」「典型的でない」生き方をポジティブにとらえ直す意図があります。

第12回関西クィア映画祭2018は、9月22日（土）～24日（月）にすてっぷホールを開催予定です。関わってくださる実行委員（当日スタッフ含む）募集しています。

『To you(トゥーユー)～あなたへ』いよいよ発行 ～小中学生へ男女平等教育啓発教材を届ける

豊中市は、2018年度に市内の小学4年生と中学1年の子どもたち全員に男女平等教育啓発教材冊子「To you(トゥーユー)～あなたへ」を配布します。

内容としては、男女共同参画やジェンダー、どんな自分になりたいか、社会の現状と課題、いろいろな性などについて記載があり、小学校4～6年生、中学校1～3年生が3年間で取組めるよう、小中とも各18ページで構成されています。子どもたちが正しく知り、気づき、考え、行動できるようになってほしいと願い、作られました。また、さまざまな教科とも関連できるよう、少しでも取組みやすいよう指導書も作られました。

冊子には、小中学校版両方に「いろいろな性」というページがあります。「性はさまざまな要素で構成されている」とし、「性は『体の性』『心の性』『好きになる性』『表現する性』などがあり、性は女性と男性だけではなく、グラデーションである」ことが書かれています。また、知識として学習するだけでなく、「相談されたらどうする?」「自分でできること」を考えられるよう、記述欄も作られています。そして、当事者の子どもが一人だけで悩まないよう、子どもたちが「アライ(Ally・支援者)」になれるよう、教える側のていねいな実践が一層求められています。

この教材は、2018～2022年度の5年間、毎年度小学4年生と中学1年生の子どもたち全員に配布されま

す。誰もが大切にされ、性にとらわれず、「自分らしく」生きられるよう、学校での活用、男女平等教育のさらなる実践が豊中市内のすべての小中学校で期待されています。

指導書の巻頭には、「社会をよりよく変えるのは『あなた』そして『子どもたち』、未来を創るのも『あなた』そして『子どもたち』です」ということばがあります。

どんな社会を創りたいのか、現在の社会を創っているわたしたちおとなも自分の「あたりまえ」が果たして「あたりまえ」なのかを問いつつ、改めて、また何度も立ち返り、行動していきたいと思います。そして、そのことを子どもたちと共に考えていきたいと思います。

田邊 裕理（豊中市立小中学校教育研究会・男女共生教育研究会メンバー）

(注)『To you(トゥーユー)～あなたへ』問合せ先
豊中市人権政策課男女共同参画係

☎ 06-6858-2654

豊中市教育委員会事務局人権教育課

☎ 06-6858-2580



情報ライブラリー

所蔵資料紹介



DVD 『パレードへ ようこそ』



監督マシュー・ウォーチャス
イギリス / 2014年 / 120分
発売元・販売元 /
株式会社KADOKAWA

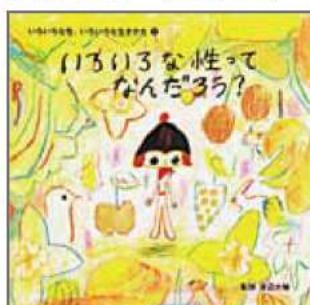
1984年から1985年にイギリスで起きた炭鉱ストライキ。ストで苦しむ炭鉱夫とその家族を支援した性的マイノリティたちの団体(LGSM)の実話を基にした映画です。

支援をきっかけに差別や偏見を乗り越えながら、仲間として連帯していく様子は、どんな立場にあっても人は手を取り合って生きていけるのだと思わせてくれます。

BOOK

『いろいろな性、 いろいろな生きかた』〈全3巻〉

渡辺 大輔 / 監修
ボプラ社
2016年



子ども向けにわかりやすくセクシュアルマイノリティを解説しています。LGBTだけでなくパンセクシュアル(全性愛)やアセクシュアル(無性愛)を含め、障害を持つ性的マイノリティなど、様々な当事者の声を知ることができるシリーズです。巻末にはLGBT関連の書籍や映画、支援団体や相談機関も掲載されています。子どもだけでなく大人も理解を深めることができる良書です。

「克宝」に認定されました

～豊中市立克明小学校人権総合学習

昨年 11 月には克明小学校の4年生、12 月には3年生の子どもたちがすてっぷに来てくれました。そして、すてっぷが何のためにあるのか、職員はどんな想いで仕事をしているのかインタビューを受け、ライブラリーなど館内も見学してもらいました。

克明小学校は、全学年で人権総合学習に取り組み、3年生と4年生は、とよなか国際交流センターやよみかき教室など校区の大切な場所をグループで訪ね、学び表現する活動をしました。そして、1月には子どもたちから「公開研究授業」への招待状が届いたのです。

当日、3年3組の教室では、すてっぷに来た7人が「すごろく」と「カルタ」づくりをしていました。例えば、「すてっぷは自分らしく



できあがったカルタで遊ぶ（3年生）



3年生全員でつくったすごろく

生きる所です」「ライブラリーには何冊本があるでしょうか」「そなんだ、相談したらわかったよ」など素敵な言葉であらわしていました。壁新聞も力作です。

4年生は、ブースで女性に対する暴力に反対する取組み（パープルリボン）に学び、リボンを実際に作るコーナーも再現するなどすてっぷの活動を伝えていました。「ジェンダーギャップ指数が114位になった」という新聞記事も貼っていましたが、この新聞を見て「114位！衝撃的やわ」と感想を言つてくれていました。

一人ひとりが生きやすい社会にしたい、という私たちの想いをよく分かってくれた子どもたちの力にびっくりし、感謝しました。これからも交流していくたいです。



克明小学校 3年生からすてっぷが「克宝」に認定されました



パープルリボン作りなど
「すてっぷ」を再現（4年生）

講座報告「CMと多様な性Ⅱ メディアと固定観念」

日時：2月4日（日）10:00～12:00 進行：すてっぷメディア・リテラシーチーム

テレビコマーシャル（CM）は短い時間で多くの情報を発信し、私たちの考え方や暮らしに影響を与えてています。すてっぷでは CM を手掛かりにメディアと固定観念（ステレオタイプ）について考える講座を実施しました。昨年に引き続き、講座では学校で人権学習の参考になるよう CM 分析の方法や素材の選び方、学びの場のつくり方を持ち帰ってもらえるようにしました。

メディア・リテラシーの考え方と日本の放送倫理基本綱領や放送基準を紹介した後、食品の CM2 本を見比べて、ステレオタイプについての説明がありました。その後、東京五輪・パラリンピックを意識してつくられた 60 秒の企業 CM を繰り返し見ながらワークシートを使って登場人物や音声などを分析しました。

グループワークでは、「この CM はステレオタイプに挑戦していると言えるか」などの問い合わせについて、分析を元に話し合いました。発表では、「オリンピックを意識して多様性を表現しようとしているが、性別や人種に対

する作り手のステレオタイプな捉え方が出ている、「多様性を表面的に考えている」などさまざまな意見が出ました。

また、今回分析した CM に限らず、私たちはメディアの情報を受け取るだけではなく、メディアに対して意見を伝えることもできるということも学びました。



発表する参加者

○受講者の感想○

「他の人の意見が聞けて考え方を変えることができた」

「自分なりに多様性を意識しているつもりでも、知らず知らずに刷り込まれているものが大きいと思った」

「一般市民に向けて楽しくこういうテーマを考える場があるのはよいと思います」

みんなの ちょこっと相談

認可保育所に
入れないって
聞いたけど…

待機児童問題は、働く親にとって大きな問題です。どこにも子どもを受け入れてもらえない、親は仕事を続けられません。法や制度が整っても、母親が仕事を辞める傾向は続いています。これは、個人の努力の範囲を超えた、社会的な問題です。

ただ、あなたの職場復帰に子どもの保育所入所は欠かせません。必ず入所できるという秘策はありませんが、ポイントをお伝えします。

早くから情報収集して準備を

赤ちゃんが産まれた後は、身動きがとりにくくなります。出産前に、送迎可能な施設ができるだけ多くリストアップし、施設見学をしておくと安心です。その際のポイントは、園児や保育者の表情、保育者の配置、保育方針、食事内容、自転車置き場、周囲の環境、施設の安全や清潔感などです。

保育所等の申込み、利用について

豊中市こども未来部子育て給付課が、窓口です。説明を聞き、申込書をもらっておきましょう。子どもが産まれ、名前が決まれば申込書は提出できます。出生届と同時に提出できれば安心です。なお、希望保育所の変更は申込んだ後でもできます。

育児休業終了を4月に

1年のうち、年度変わりの4月が最も入所しやすい月です。あなたの場合、子どもの1歳の誕生日日前まで育児休業を取得すると入所は6月の予定です。年

今年6月に出産予定です。子どもが1歳になるまで育児休業が取れます。育休後は職場に戻って働くつもりですが、豊中市は待機児童が多く、認可保育所にはなかなか入れないと聞きました。何かよい方法はありますか？



度途中の入所は厳しいので、育児休業を前倒しで終えて「4月入所希望」とする方が可能性は高くなります。4月入所を希望する場合は、前年12月中の申込みが必要です。申込書の提出後に希望保育所を変更したい場合でも、12月中に変更手続きを済ませておきましょう。

育児休業は2歳まで延長できるようになりました

4月に入所できなかった場合は、1歳6か月まで育児休業を延長できるので、子育て給付課で入所できなかった証明書を発行してもらい、育児休業の延長を会社に申請しましょう。2017年10月1日から、1歳6か月以後も保育所に入れない場合は、育児休業再延長を2歳まで出来るようになりました。育児休業給付金の給付期間も2歳までとなります。

あなたの職場復帰の時期は、雇う側の会社にも影響を及ぼします。育児休業の延長は、会社と十分に話し合って理解を得てください。入所時期が決まったら、慣らし保育のために有給休暇や短時間勤務制度を利用する必要があるかもしれません。それも事前に会社と相談しておくとよいです。

豊中市では保育施設の整備が進み、2018年4月に18か所が開園予定（定員717人増見込み）です。最初の申込みで入所出来なくても、チャンスは2歳まであるので、就労継続をあきらめないでください。

回答者：西野 智子（当財団職員、社労士）

4つの出会いが待っている「転職カフェ」

～2017年度は木曜の夜（6月・1月）と
土曜の午後（11月）で実施

女性が集まり、お茶を飲みながら仕事や将来のこと話し聴く転職カフェは、参加すると毎回何か新しい出会いがあります。

1つ目は、仲間です。「悩むのは自分だけ？」と思っていたのに、同じように悩みながら頑張っている人と出会うと励されます。2つ目は、語り合える人です。初対面で戸惑っても、回数を重ねることで語り合えることも増えます。3つ目は、ロールモード

ルです。ゲストスピーカーや他の参加者の経験談から学ぶことがあります。4つ目は、応援団です。豊中市地域就労支援センターとてつぽの職員が、いつでも参加者に支援出来るように毎回同席しています。連続5回講座の中で、出会いを深めていきます。



毎回短いスピーチで自分から情報発信する練習も

自分自身の変化を楽しみながら

■先輩教員との出会い

学校現場にいると、子どもたちのからかいのなかで「オネエ」「オカマ」「ホモ」「レズ」そんな言葉を耳にします。なんとなく言つたらダメなのかな…と思いつつ、つい盛り上がるために発してしまう。そういう光景を目の当たりにします。そんな時「こら! そんなこと言つたらあかん!」と言つてしまえば、その場は収まるのかもしれませんが、それでは何の教育にもなりません。「どうしてそんな言葉で盛り上がるのだろう」その原因を考え、「おもしろかったら何言つても良いわけとちゃう」と子どもたち自身が気づくようにアプローチする。その大切さに気づくことができたのは、ひとりの先輩教員との出会いでした。

■先輩との対話を通して少しずつ気づく

教職3年目の話です。子どもたちの実態を見て、先輩教員と「男女共生教育に取り組もう」という話になりました。しかし、心の奥底では「生物学的には、やっぱり男女のちがいってあるやん…」という思いが拭えなかったのです。

当時の私は、ジェンダーの縛りがあることで理不尽な思いをしている人がいることに目を向けていなかつたし、そういう事実をきちんと認識していなかつたのかもしれません。社会的な性の有り様など、深く考えたことがなかったのです。こういった認識は固定観念でもあり、一朝一夕で変わるものではありません。そんな私が少しずつ変わることができたのは、浅はかな質問を繰り返すような私とねばり強く対話し、時に教えてくださり、叱責するのではなく私の思いも受けとめてくださった先輩教員の存在がとても大きかったのです。

豊中市立千成小学校

寺岡 裕城

profile

1987年、大阪市生まれ。豊中高校を卒業後、京都で学生時代を過ごす。スポーツクラブでのアルバイトで水泳指導の楽しさに魅せられ、教職の道へ。子ども・保護者の願いや想いを受け止めながら、次世代を担う子どもたちが“本当に身につけるべき力は何か”を模索する日々。



■“あたりまえを見直そう”をテーマに

先輩教員と“あたりまえを見直そう”をテーマに、男女共生教育に取り組みました。そこで私は子どもたちと同様に、学ぶ立場でもありました。セクシュアルマイノリティの子どもたちの居場所づくりをされているippoさんやkonさんの出会い、男女財団理事長の林誠子さんの出会い。出会いを通して、私自身「目の前の子どもたちが、ジェンダーにしばられて苦しむことや、夢や希望をあきらめてしまわないようするためににはどうすればよいのか」、「男女の枠にとらわれて苦しい思いをしている人がいた時に、そっと寄り添つたり、ふと立ち止まって考えたり、時に立ち上がったりできる力をつけてほしい」と考えるようになりました。

子どもたちがからかいの言葉として発している「オネエ」「オカマ」「ホモ」「レズ」。やはり子どもたちはテレビやインターネットの影響を強く受けているように思います。メディアが発信する固定化された性とおもしろおかしく描かれる性。一方で、学校で出会う現実の性。子どもたちも出会いと取り組みのなかで、言動が徐々に変化していきました。そういう積み重ねが教育には大切であり、10年後、20年後を見据えた教育の意味とその大切さを考える機会になりました。

“知る”“つながる” すべて情報ライブラリー

Twitterで話題となり、新聞やメディアでも取りあげられた「#おかあさんだから」「#Me too」をご存知でしょうか。世の中を賑わせている事柄に「聞いたことはある」「コトバは知っているが詳しくは分からない」という方がいらっしゃるかもしれません。すべて情報ライブラリーでは、身近な話題に関連した展示も行っています。気になる話題で手に取った本から少し視野が広がり、見えてくる世界があります。社会とつながる情報ライブラリーへ、ぜひお越しください。



ライブラリーの展示コーナー

主催講座のご案内

男女共同参画や女性の就労支援に関する講座などを開催しています。

すべての講座に一時保育がついています。 講座申込・問合せ **06-6844-9773** 9:00～17:30

トキドキすてっぷ すてっぷシネマ&おしゃべり会

映画上映と終了後のおしゃべり会（希望者のみ）では感想を語り合います。

■4月 21日(土)14:00～15:50

『92歳のパリジェンヌ』（おしゃべり会は映画終了後30分程度）

■5月 26日(土)14:00～16:05

『ラビング 愛という名のふたり』（おしゃべり会は映画終了後30分程度）

■参加：無料

第3、4回すてっぷいストア

起業家をめざす女性たちが
ショップを出店。ネイル、フット
ケア、リラクゼーションなど。

■4月 28日(土)11:00～16:00

■5月 26日(土)11:00～16:00

■参加：無料

女性のための相談室

女性相談員による無料の相談です。

問合せ・予約 **06-6844-9739**

(月～金曜 9:00～20:00、土曜 9:00～17:00)
※12:00～13:00、17:00～18:00、水曜・日曜・祝日を除く

電話相談 予約不要

専用電話 **06-6844-9820**

生き方電話相談

第1～4月・木曜	13:00～20:00
第1～4月・木曜	10:00～17:00
第1土曜	10:00～15:00

働く女性のための生き方電話相談

第1～4月・木曜	18:00～20:00
第1土曜	10:00～15:00

ガールズ相談（10～30代女子の電話相談）

第1～4月・木曜	13:00～20:00
----------	-------------

面接相談 要予約

カウンセリング（約50分） 第1～4月～土曜

法律相談（約30分） 第1～3月曜 ※ひとり1回限り

労働相談（約50分） 第2土曜、第4火曜

しごと準備相談（約50分） 第1～4月曜

しごと活動相談（約60分） 毎週金曜

予約不要

働く女性のちょっと相談 第1木曜 18:00～20:00
第3土曜 15:00～17:00

男性のための電話相談

予約不要

男性相談員による無料の相談です。

男性のための電話相談：専用電話 **06-6844-9111**

第2火曜 18:00～20:00
第4土曜 13:00～17:00

情報ライブラリー

問合せ **06-6844-9735**

男女共同参画の実現に関わる専門図書室です。専門書、絵本・児童書、雑誌、映像資料など2万点以上を所蔵しています。また、毎週末には児童書コーナーで、親子のためのスペース“えほんのひろば”を開催しています。マットの上でくつろぎながら、お子さんとゆったり読み聞かせを楽しみませんか。お父さんも大歓迎です。気軽に遊びに来てください。

■利用時間：

月・火・木・金・土曜 10:00～20:00
日曜 10:00～17:00

■休室日：水曜、祝日、毎月最終火曜、
年末年始、特別整理期間

貸 室

利用申込 **06-6844-9774**

9:00～20:00

市民活動、勉強会、サークル活動、企業の研修など、
非営利の活動にお使いいただけます。

▶セミナー室、視聴覚室、
ホール（定員154人・可動式客席）

【すてっぷホール無料内覧会&相談会】

これからすてっぷホールのご利用をお考えの方、すでに
申込み済でスタッフとの打合せまでの疑問や不安がある
方は、内覧会&相談会をぜひご利用ください。（1団体
30分程度まで）詳しくはお問合せください。

とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ

（指定管理者一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団）

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-501（エトレ豊中5階）

- 休館日 毎週水曜・年末年始
- 開館時間 9:00～21:30
- ホームページ <http://www.toyonaka-step.jp/>
- Twitter @toyonaka_step



すてっぷ ON! vol.16

発行日 / 2018(平成30)年3月15日

編集・発行 / 一般財団法人

とよなか男女共同参画推進財団

電話 / 06-6844-9735

FAX（共通）/ 06-6844-9706